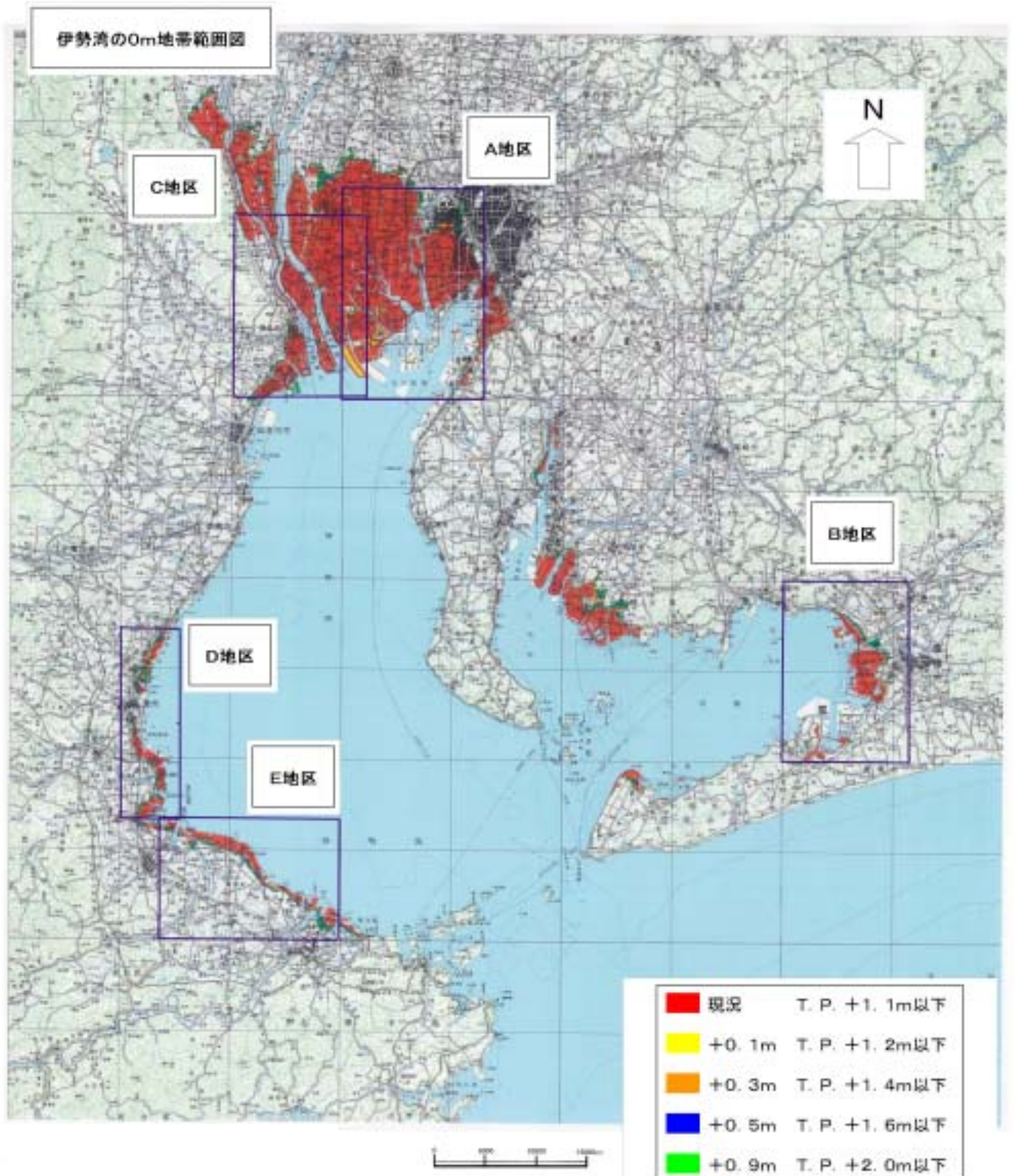


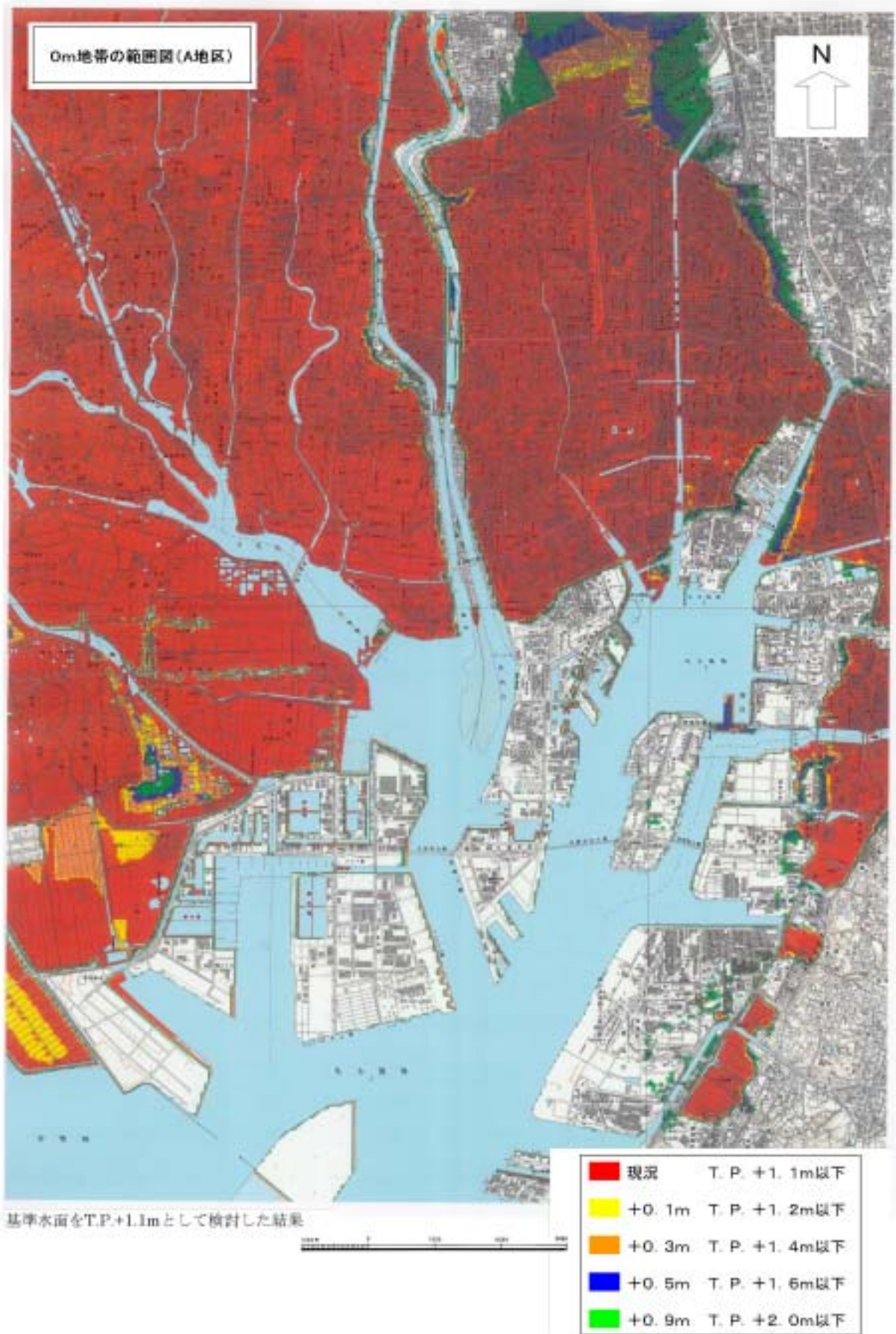
第3章 詳細モデル地区の災害ポテンシャルの変化

全体図

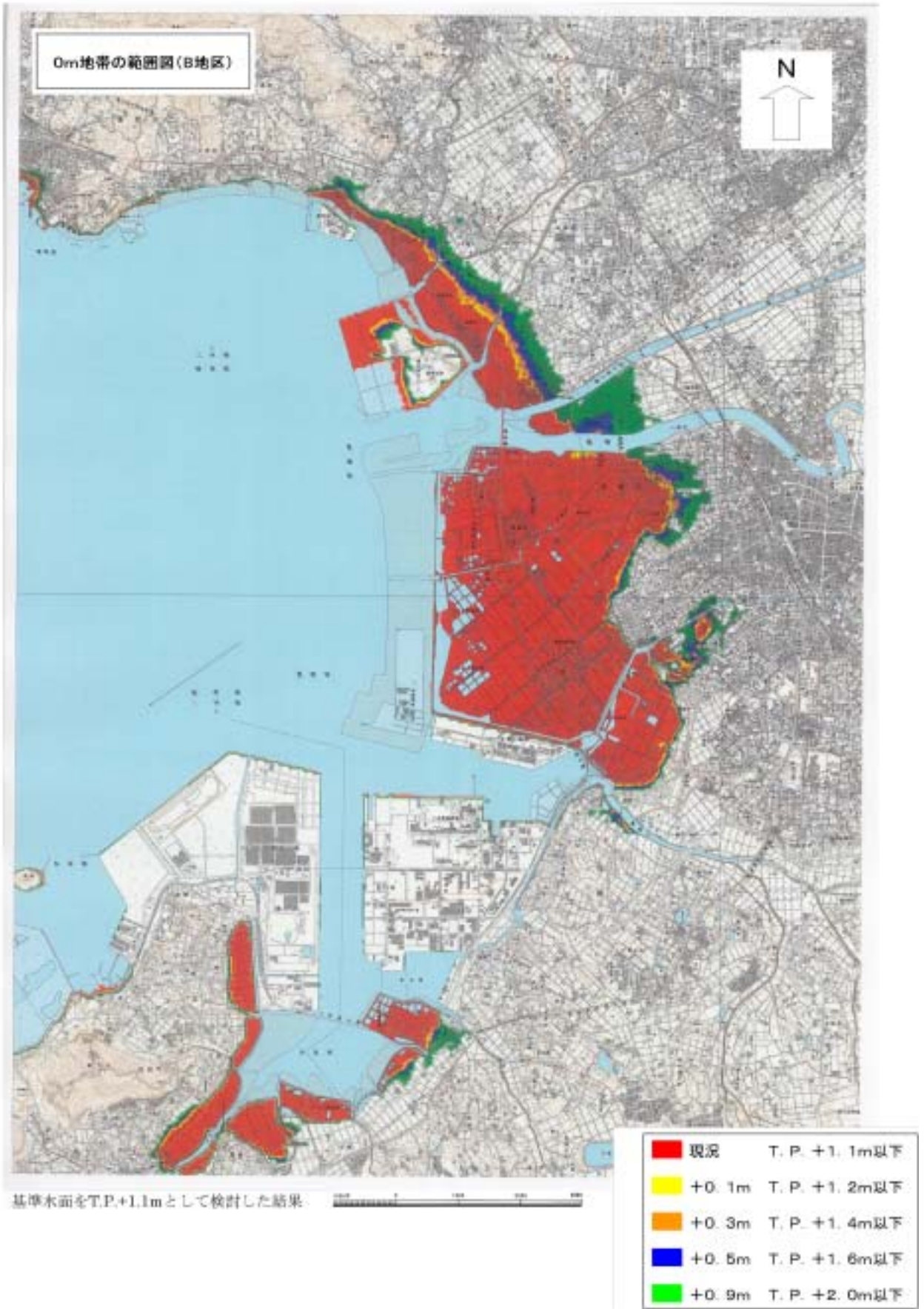
朔望平均満潮位 (T.P.+1.1m) を現況のゼロメートル地帯の基準値とし、海面上昇によるゼロメートル地帯の変化の状況を示した。



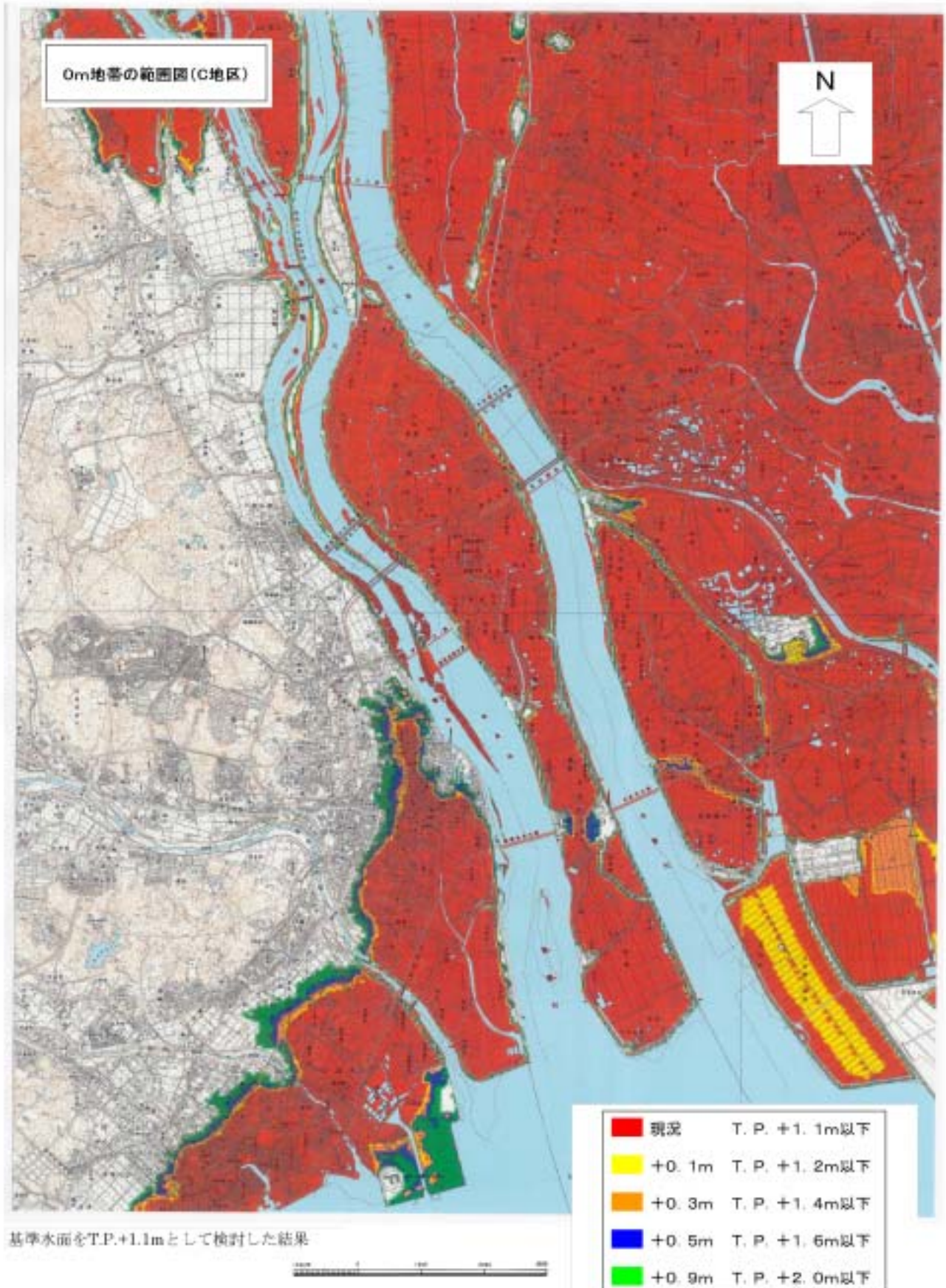
A地区



B地区



C地区

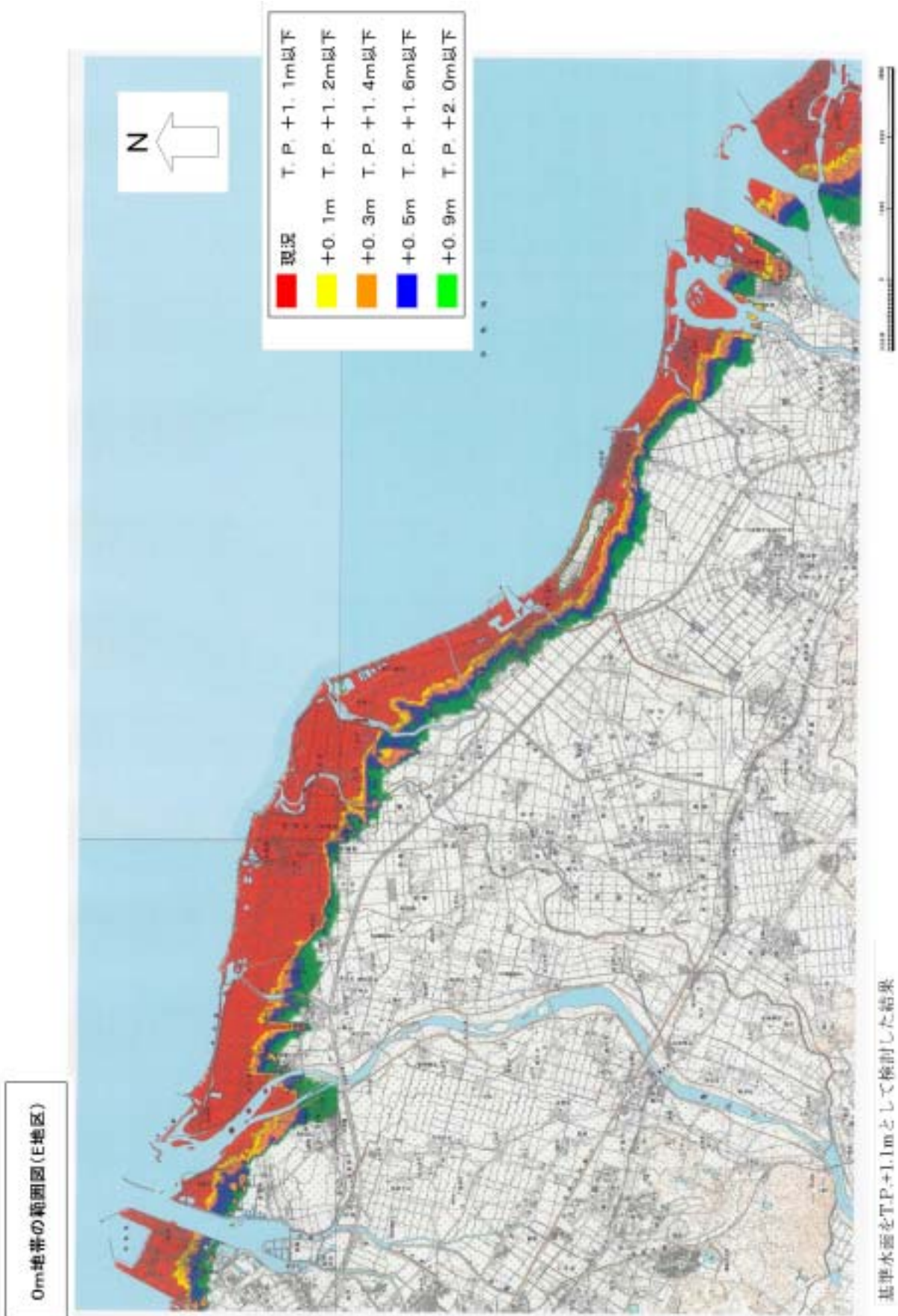


D地区

0m地帯の範囲図(D地区)



E地区



詳細検討地区全体での海面上昇によるゼロメートル地帯の面積・人口・世帯数・資産の変化の状況を下表に示す(朔望平均満潮位(T.P.+1.1m)を基準とする)。ここで示した資産とは、ゼロメートル地帯内の資産(家屋、家庭用品、事業償却・在庫資産、農漁家償却・在庫資産、農作物の5項目)の単純集計値で、浸水を想定した場合の被害額については4章で整理する。

詳細検討地区全体における海面上昇による
ゼロメートル地帯の面積・人口・世帯数・資産の変化

(a)実数

	面積 (百km ²)	人口 (千人)	世帯数 (千世帯)	資産 (兆円)
現況(T.P.+1.1m)	4.7	880	291	15.7
+ 0.1m	4.8	903	299	16.2
+ 0.3m	4.9	926	307	16.6
+ 0.5m	5.3	1000	334	18.2
+ 0.9m	6.0	1144	385	21.4

(b)現況からの増分

	面積 (百km ²)	人口 (千人)	世帯数 (千世帯)	資産 (兆円)
現況(T.P.+1.1m)	-	-	-	-
+ 0.1m	0.1	23	8	0.5
+ 0.3m	0.2	46	16	0.9
+ 0.5m	0.6	120	43	2.5
+ 0.9m	1.3	264	94	5.7

(c)現況を1.0とした時の比率

	面積	人口	世帯数	資産
現況(T.P.+1.1m)	1.0	1.0	1.0	1.0
+ 0.1m	1.0	1.0	1.0	1.0
+ 0.3m	1.0	1.1	1.1	1.1
+ 0.5m	1.1	1.1	1.1	1.2
+ 0.9m	1.3	1.3	1.3	1.4

注) 面積は数値地図 50mメッシュ(標高)、人口・世帯数は平成7年国勢調査地域メッシュ統計、資産は治水経済調査マニュアルによる。